



認知症の増加は社会問題！

2015年に高齢者（65歳以上）が我が国の人口25%を超えました。2025年には30%を超えるといわれています。高齢化に伴い、認知症の患者数は急速に増加しており、2012年で推計462万人、2025年には約700万人、65歳以上の高齢者の**約5人に1人**に達することが見込まれています。

厚生労働省『新オレンジプラン』より

“認知症をきたす病気の中で最も多いのは**アルツハイマー病**です”

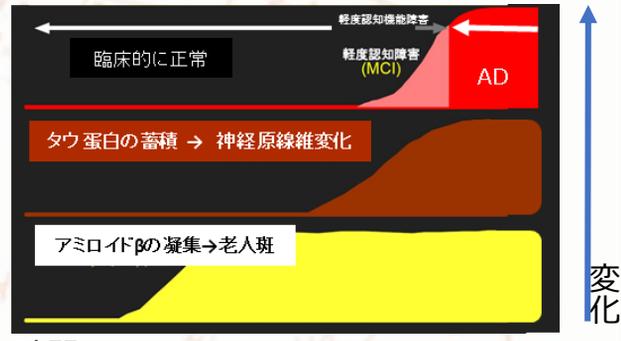
アルツハイマー病の発症に関連する『アミロイドβ』の蓄積



アルツハイマー病(AD)の脳の中には“**老人斑**”と、“**神経原線維変化**”と呼ばれる2つの特徴的な像が見られます。老人斑とは**アミロイドβ**という脳の神経細胞周囲にたまる“ゴミ”のような異常蛋白が凝集したものです。アミロイドβは健常者でも作られ、通常は分解、排出されますが、アミロイドβ同士がくっついて排出されずに脳内のシミのような状態になって増えたものが『**老人斑**』です。

神経細胞の中のタウ蛋白というものが線維化して沈着したものを神経原線維変化といい、この変化が生じると神経の脱落をきたし、臨床症状を来しやすくなります。

アルツハイマー病では**アミロイドβの蓄積が最初のステップ**であり、症状が現れる**10数年以上前から認められます**。



アルツハイマー病の脳における病理学的変化と症状の時間経過

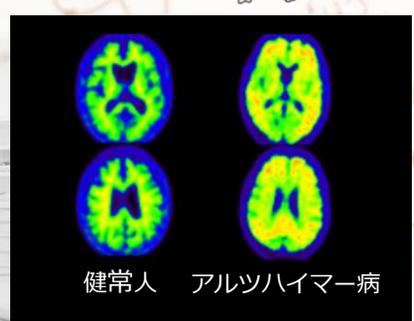
アルツハイマー病を調べる検査の一つにアミロイドPET検査があるんだね

PET検査は“がん”を見つけるための検査じゃないんだね!

アミロイドPET

脳内に蓄積したアミロイドβを唯一可視化することができる画像検査です。

- ・早期のアミロイド蓄積の判定
- ・治療薬の使用の適用決定に使えるといわれています。



最新トピックス

2023年8月
製造販売承認

アルツハイマー病の新薬『**一般名：レカネマブ**』レカネマブは蓄積されたアミロイドβを減少させ、早期アルツハイマー病の進行を遅らせる効果があると期待されています。